

～～第8693回～～

笠取山（奥秩父）

～R1. 5. 25～

朝から天候に恵まれてマイクロバスは満席で、安倍川駅からの出発。多摩川源水林を歩くと言う、興味ある山梨百名山である。中部横断自動車道が着々と開通されているので、3時間で作場平駐車場に到着した。登山口からのスタートはカラマツの林を抜ける清流沿いの歩きだ。夏日になっているので熱中症を心配したが、せせらぎの音も心地よく暑さからも救われた。一休坂分岐点ではヤブ沢方面ではなく、右側のミズナラ林の急坂コースへと進む。笠取小屋に着くと、テント場付近には十数頭の鹿が人馴れしているのだろう、逃げないでいるのには驚いた。小屋からは左側の道を選ぶ。雁坂分岐は板敷の道となり、笹原の視界が開けて来て小さな峰の「小さな分水嶺」に行き着く。ここから降った雨が富士川・荒川そして多摩川になるそうだ。次なる面白いポイントは山頂までの急登で防火帯になっている道を登り詰めなくてはならない、木が生えていないので土が滑るのではと不安だったが、ジグザグになっていたのが雄大な山々を眺めながら35分で無事登頂した。笠取展望台で昼食とともに味わえた眺望は、奥には南アルプス、はっきりとした大菩薩嶺の山塊、いつまでも全景を見せてくれた富士山と限りなく山の海のようなロケーションに満足。もう一つの見どころは源流の道分岐からすぐの所にある「水干みずひ」である。多摩川の源頭で最初の一滴が沁みだしている場所だった。水は命であり東京都が緑を豊かに大切にしているのが伝わってくる。下りは黒エンジュの周回コースを選択した。伐採後に苔生した丸太がゴロゴロとしている天然林の中、長～い道を歩いて作場平口に下山した。笠取山は山頂手前の岩場さえ気を付ければ、さして難所も無く歩きやすい。多摩川の最初の流れを見ることが出来て有意義な山歩きだった。

参加者：20名（静岡西16名、藤枝4名）

天気：晴れ

地図：雁坂峠

コースタイム：安倍川駅 500＝作場平登山口 810…一休坂分岐 850…笠取小屋 1000…小さな分水嶺 1030…笠取展望台(山頂?) 1105-40…水干 1215…馬止 1345…作場平口 1400＝安倍川駅 1700

記録：静岡西支部 Y・K